

龍雲寺 花園会報 二〇一二年お盆号

○妙心寺 URL <http://myoshin.com/>
○龍雲寺 URL <http://home.catv.ne.jp/rr/ryuunji/>

〒一五四〇〇〇三三
東京都世田谷区野沢三三三八一
TEL 〇三三四二一〇二三八
FAX 〇三三四一八一九八六三

監修 細川 景一 編集 細川要子

ごあいさつ

住職 細川 景一

「天変地異」という言葉がありますが、昨今は地震だけではありません。竜巻、台風等の天候不順が続いています。

皆様方にはお元気にお暮らしの事と、ご推察申し上げます。

「光陰矢の如く」又お盆を迎えました。お盆の行事は何時頃から始まったのでしょうか。もの本によれば齐明天皇三年（六六三年）七月に全国寺院で先祖の冥福を祈り、早く亡くなった古人を忍ぶ供養齋が行われたという記録があるそうです。

永い歴史の上に今日の盆会があるわけですから、近頃不合理不経済と云って精神的（こころ）なものもを切り捨てる風潮がままある様で残念です。盆の行事も是非、次ぎの世代に続けていきたいものです。

亡き人の在すが如し魂まつり

仏壇が開かれて真菰を敷き、茄子、胡瓜に芋殻の足をつけてローソクの美しい灯が流れ、線香の煙が円をえがいて消えてゆく様子は應に日

本独特の先祖を大切に作る盆会の風景です。

思えば昨今、家族の崩壊が云われています。

「家族は一つ」だと千べん万べん云ったところで家族は一つになるわけではありません。仏壇の前にあるいはお墓の前に家族が全員、先祖の霊にお参りする。この積み重ねが自然と家族は一つであると思うようになって行くのではないのでしょうか。今年のお盆から始めましょう。

わが父母はまさしく我に生きてあり

思ふに頭たち来常見くつねみしおもかげ

「窪田 空穂」

孟蘭盆会法要

七月一七日(火)

午前十一時

午前十一時四半

正后

御詠歌奉詠

法話

法要

※お食事をご用意しています。猛暑の中十分気をつけてお参り下さい。お申し込み不要。

行事予定

七月 六日(金) 七夕飾りを作る会

十三日(金)～十五日(日) お盆の棚経

十七日(火) 施餓鬼会

八月 三日(金)～五日(日) 龍雲寺盆踊り大会

(於・環七龍雲寺駐車場)

十五日(水)～十七日(金)

第七次妙心寺お精霊送り

と五山の送り火の旅

九月二十二日(土) 秋季彼岸会

二十五日(火)～二十八日(金)

第七次四国巡拝①

十月 六日(土) 第九回天満敦子ヴァイオ

リンコンサート(於・本堂)

十五日(月)～十八日(木)

第三次西国巡礼②

十一月十三日(火)～十五日(木) 全国奉詠大会

十一月二十七日(火)～三十日(金)

四国八十八ヶ所巡拝②

十二月中旬 龍雲寺子供会餅つき大会

三十一日(月) 除夜の鐘

一月七日(月) 大般若会

第三次

西国三十三観音巡礼

五月七日(月)～十日(木)



募集中

◆無相教会花園流御詠歌会員募集

毎月一回 須藤芳順先生のご指導

九月十日(月)・十月十二日(金)・十一月九日(金)・十二月二十五日(火)午前十一時～十五時

会費は無料、お弁当代六百円のみ。貸出用の御詠歌のお道具有り、見学自由、全員イス席で講習を受けます。(木)に自主練習(不定期)。男性もどうぞ。

○他にも龍雲寺では囲碁の会・茶道部・法声会(長唄・三味線)・獅子舞・子ども会・かつぼれ・ヨーガ等があります。

◆第九回天満敦子ヴァイオリン・コンサート

【プロフィール】東京芸術大学在学中に日本音楽コンクール第一位、ストラディヴァリウス晩年の名作のヴァイオリン、弓は伝説の巨匠イザイ遺愛の名弓

日時 十月六日(土)午後三時～受付開始・整理券

配布。受付開始前には整理券はお渡ししません。

お申し込みは FAX / おハガキで、

住所・氏名・連絡先・参加人数を明記

会費 三千五百円(当日集金)

お抹茶・虎屋さんのお菓子・笹寿司をご用意。

会場は本堂でイス席。バリアフリーで車イス対応のトイレも有ります。

定員になり次第締め切ります。

書生さん紹介

伊東 正智 四十四歳

神奈川県横浜市

高野山大学 広園僧堂

龍雲寺歴 三年六ヶ月

これからも宜しくお願ひします。

坂本 宗耕 四十二歳

和歌山県和歌山市

日本大学 円福僧堂

龍雲寺歴 一年八ヶ月

毎日タラとハクの散歩が楽しみです。

脇坂 玄旭 三十二歳

京都市妙心寺山内 隣華院

千葉大学 平林僧堂

龍雲寺歴 三ヶ月

趣味はバラ園の鑑賞です。

中山 宗瑛 二十五歳

福島県福島市 東光寺

花園大学 妙心僧堂

龍雲寺歴 二ヶ月

夕方の梵鐘打ちが楽しみです。

◆花園会 祥・仏教講座 ご案内

花園大学の先生方による、禅と仏教についての講座です。

十一月十七日(土) 西村 恵信 師

『沢庵和尚の周辺』

中尾 良信 師

『孤高の禅師 道元』

一月十九日(土) 野口 善敬 師

『今北洪川と【禅海一瀾】』

玄侑 宗久 師

『だるまさん』

☆会費 一〇〇〇円(当日集金)

☆時間 午後二時〜五時

☆会場 龍雲寺本堂にて

☆お問い合わせ・お申し込みは 龍雲寺まで

☆定員になり次第締め切ります

◆早朝洗心坐禅会

毎週日曜日 朝六時半〜八時半

会費 無料

坐禅用のイスもご用意しています。

◆写経会

毎月第二土曜日 一時〜四時

(但し、七月、八月はお休み)

納経料は 一卷五〇〇円

来られない方は、お写経をお渡しいたします。
ご自宅でごゆっくりお写経をどうぞ

イス席もご用意しています。

※坐禅会と写経会は、お申し込み不要。

◆龍雲寺厚木墓地のご案内

聞修寺墓苑内に龍雲寺檀徒用の墓地を造成しました。龍雲寺檀徒としてお付き合いをさせていただきます。

A(二五〇×一五〇)永代使用料一二五万円

B(二五〇×一四〇)永代使用料一一四万円

A Bとも納骨棺、塔婆立、拜石等の外柵工事費を含みます。

このままで直ちに納骨できます。右記の金額を直接お寺にお納め下さい。詳細につきましては龍雲寺まで。

◆納骨堂

(お遺骨一時預り 無料)

墓地をお持ちでない方や転勤の多い方、将来落ち着き先がわからない方たちが、ご不幸があつて慌てて墓地を買われないように、落ち着いて考える時間を持つて下さるようという考えで十数年前に納骨堂を本堂の裏側に建てました。いつもお参りの方がいらしています。

◆NPO尚 東日本大震災復興支援

『浜ばっぱのぞうきん』プロジェクト

NPO尚では、七ヶ浜で支援され、町内の仮設住宅で生活する浜ばっぱを支援する活動を行います。

(※浜ばっぱとは、浜のばあちゃんという意味) 活動内容は、浜ばっぱに雑巾を縫ってもらい、その縫って頂いた雑巾一枚毎に浜ばっぱに一〇〇円が手渡されています。(※一組四〇〇円のうち三〇〇円が雑巾を縫った浜ばっぱに「報酬」と支払われ、残りの一〇〇円は送料、縫製道具、梱包代などの経費に。)

雑巾は色も大きさも違います。それは支援品のタオルを使用しているからです。そして他の雑巾との一番の違いは、浜ばっぱそれぞれの復興への思いが込められているところです。

大震災の津波で自宅を失い、先の見えない仮設住宅での生活が続いています。そんな状況でも浜ばっぱは笑顔と元気を忘れてはいけません。そして私たちはその笑顔に勇氣と元気を戴きました。そんな浜ばっぱに何か出来ることはないかと考え、この支援活動が始まりました。

被災地が、七ヶ浜が元気に笑顔になるように。被災地の浜ばっぱとこの活動にご賛同頂いた皆さんが幸せに過ごせるように。そんな支援を目指して活動していきます。

NPO尚『浜ばっぱのぞうきん』プロジェクト

宮城県宮城郡七ヶ浜町吉田浜宇寺山三

代表 後藤 俊英

電話 〇二二二五七三二四九

FAX 〇二二二五七三二八四〇

E-mail hamabappa@live.jp

※龍雲寺にて浜ばっぱぞうきんを置いてあります。一組四〇〇円

募集中!

■第七次第一回四国八十八カ所巡拝

※都合で九月二十五日(火)〜二十八日(金)に変更。

ぜひご参加を! (三泊四日)

会費十万六千円(納経料と拝観料は別途)

一番霊山寺〜二十九番国分寺まで。住職と寺庭が引率。龍雲寺集合・解散、羽田空港・現地集合可。バス・タクシー・ロープウェイ等を使って巡拝。輪袈裟・経本・白衣は龍雲寺より進呈。二年で結願。高野山、妙心寺へも参拝。今回は一番からスタートします。今まで二百人位の方が満願されています。二名一室等の希望も可。

■第七次第二回四国八十八カ所巡拝

十一月二十七日(火)〜三十一日(金) 三泊四日

今年、うるう年なので逆打ちをすると三倍のご利益があると言われています。一番から二十九番まで順打ちで、五十四番から三十番までを逆打ちします。

来年は、四月と十一月に巡拝予定です。紅葉の高野山、京都で結願の旅を終わります。

妙心寺と五山送り火の旅

八月十五日(水)〜十七日(金) 二泊三日

会費七万二千円(納経料別途)

龍雲寺集合・解散 新幹線の駅・現地集合可。

妙心寺での団体参拝・お精霊送り、妙心寺花園会館屋上から送り火を拝めるので疲れません。

ツイン・ベッドでバストイレ付、シングル・ルームや和室・大浴場も有り、川床料理や精進料理・朝粥・おやつもご用意。写仏・写経・お数珠・匂い袋・友禅染めのTシャツ作り等暑い京都を涼しく、楽しい事を考えています。お子様料金もあります。皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

※いずれも定員になり次第切めますのでお早めにお一人でも、ご高齢の方も楽な旅です。ご希望も可。お申込みの方には詳細をお知らせします。

※参加を迷われている方は、いつでも龍雲寺までご連絡下さい。

■第二次第二回西国三十三観音巡礼

十月十五日(月)〜十八日(木) 三泊四日

今回の西国は前回と同じバスで。

ドライバーさんは二人で安心して乗って頂けます。八幡谷寺からスタートで、奈良、東大寺大仏殿のすぐ近くの遊景の宿平成で二泊。東大寺・薬師堂の特別拝観等考えています。石山寺・三井寺・上醍醐寺を巡礼して、十五番観音寺で帰途に。

昨年奥州三十三観音巡礼でバスで恐山まで行き、参加下された方々が皆バスが楽だと言われてバスにしるした。

新東名高速道路も出来て、遠い所も近く感じられます。

編集後記

○皆様いかがお過ごしでしょうか? ○住職はあいかわらず京都へ。少し疲れがたまっているのは? と心配しています ○新命は、妙心僧堂から戻って一年四ヶ月位経ち、大学と僧堂が京都だったので最近東京にも慣れてきました。今は花園大学の大学院生で先日高等布教の試験に合格しました。亡くなった父(故 松原泰道)も喜んで思ういます ○龍雲寺の書生さんは、私が来てから八十人を超えています。大事な息子さんをお預かりしているの健康管理に気をつけています。募集はしていませんが、口コミで来てくれます ○私事ですが、本山で御詠歌の準講師三級の試験に合格。声も手も震えて大変でした ○バラ園は磯貝さんのおかげで今年も素晴らしい花が沢山咲きバラ園を訪れる方々も毎年増えてきて嬉しいです ○中国茶講習会も好評で、今秋、紅葉の頃に又開きます。お楽しみに ○おかげさまで山内一同、皆元気にしています ○犬のハクとタラは毎日坂本さんとお散歩。猫たちは寝過ぎ。庭の金魚やメダカは餌を競い合って食べています。お元気で

要子

